

2026 年度ゼミ（演習 3A／演習 3B）要覧

担当者名	杉之原 真子
演習テーマ	グローバル化と政治・経済・社会
内容と 卒業論文の 指導方針	国内外の政治・経済に関するテーマについての卒業論文を執筆する。 春学期は、政治経済に関する文献を購読しつつ各自のテーマを絞り込んでいく。また、卒業論文にふさわしい学術的な文章の書き方について学ぶ。 秋学期は、プレゼンテーションとディスカッション、個別指導を通じて論文のレベル向上をはかるとともに、情報リテラシーや批判的思考能力を身に付ける。
メール・アドレス	suginohara.seminar@gmail.com
オフィス・アワー	2025 年度中は、ご相談に個別に対応します。上記メールアドレスにご連絡ください。
授業概要	経済のグローバル化、つまりヒト・モノ・カネや情報の国境を超えた流れが、各国の政治・社会にどのような変化をもたらしているのかを考察します。先進国を中心としますが、途上国と国際経済の関係も扱います。 トピックは、国際政治経済の構造・経済格差・福祉政策・移民・ジェンダー・経済安全保障などを想定しています。
学習目標	自ら選んだ、国際社会や国際経済に関するテーマについて、学術的な論文が書けるようになる。 社会問題の解決に向けた道筋について、自分の考えを持つことができる。 情報リテラシーや批判的思考能力を身に付ける。
授業計画	春学期 ①学術的論文の書き方について学ぶ ②現代の政治や経済に関する諸問題について文献を読み、ディスカッションを通じて理解を深める ③各自の研究報告 秋学期 ①各自の研究報告 ②関連文献の購読
予習	課題文献を読み、コメントを用意する。自分の研究テーマについて調査を進め、報告の準備をする。
復習	自分の研究テーマについて、フィードバックをもとに調査と論文執筆を進める。
授業に関する 注意事項	
教科書	受講者の関心に基づいて決定します。
参考書	
成績評価の基準	授業参加 50%（課題文献へのコメントやプレゼンテーションの評価を含む）、レポート 50%
関連 URL	
認定留学期間中の 遠隔指導	○ / 否 / その他()
備考	